

イラン 輸出業者はUAE等湾岸諸国の支払い条件に不満

FreshPlaza 2023年4月6日

「これが続いたら、他所で商売する」

イランの輸出業者は湾岸諸国の危険な支払い条件に不満を抱いている

湾岸諸国からのイラン産青果物の需要はここ数週間で大幅に増加しているが、イランの輸出業者が望む形ではない。イランの輸出企業であるダリヤ・ヌシュ・パヤブ貿易(Darya Noosh Payab Trading)のハディ・ミルザエイCEOは、「特定の果実や野菜に対する強い需要があるが、ビジネスのやり方にはまだ改善の余地がある」と言う。(以下「」は同CEOの発言)

需要が増加すると見られる青果物については、「それらは主にトマト、キュウリ、ズッキーニである。これらの野菜の需要の増加はラマダン月*によるものだ。また、スイカ、ネクタリン、モモ、サクランボ、イチゴの需要は、輸出先の国が暖かくなるとすぐに増えてくると予想している。」

(*：2023年は3月22日頃～4月21日頃(地域によって若干異なる)。健康的で節制的な食事が求められる)

同氏によると、最も活発な市場は「主にアラブ首長国連邦(UAE)とカタールである。UAEは輸入量が最も多く、カタール市場は大いに成長している。オマーンからの需要は予想ほどではない。ロシア市場も力強い成長を見せており、弊社はそれに向けて動き始めている。」

しかし、イランの輸出業者が受けている誘いは、必ずしも取引につながるとは限らない、とミルザエイ氏は付け加える。「関心はかなりあるものの、リスクの高い支払い条件と不十分な価格の提示が次第に増えている。バイヤーらはまた、低い価格を得るために生産者から直接購入し、前払いを避ける傾向があるが、これは必ず裏目に出る。多くの輸入業者は、信用販売と納品後の支払いを標準にしたいと考えているが、これは我々にとってリスクが高すぎる。」

「1月以降はまた、多くのバイヤーがイラン通貨(リアル)の下落を利用して市場を支配し、日々提示価格を切り下げている。それは大きな価格変動と我々の利益の低下につながる。」

これらの危険な状況は、輸出業者の忍耐力を試している、とミルザエイ氏は言う。「これが続けば、将来、間違いなく市場に大きな変化が起こる。我々は商品を販売する別の地域を探す。この点で、ロシア市場は成長しており有望である。また、将来重要な輸出先となるサウジアラビアとの貿易開始にも期待している。」

湾岸諸国、主にアラブ首長国連邦、カタール、オマーン及びイラクは、レモン、スイカ、メロン、トマト、キュウリ、ナス、リンゴ、キウイフルーツ、ピーマン、唐辛子、ブロッコリー、カリフラワー、白キャベツ等についてイランに依存している。

執筆者: ユーネス・ベンサイド